

関係各位

令和3年12月16日
北九州市港湾空港局物流振興課
電話：093-321-5941**(株) 名門大洋フェリー新造船「フェリーきょうと」の初入港による
歓迎訪船(12/14)の実施**

令和3年12月14日、(株)名門大洋フェリーにより、北九州(新門司)～大阪(南港)を結ぶ定期フェリー航路に新造船「フェリーきょうと」が投入され、北九州港(新門司)に初入港したことを記念して歓迎訪船を実施しました。

新造船の投入は平成27年に就航した「フェリーおおさかⅡ」「フェリーきたきゅうしゅうⅡ」に続くものとなっています。

今回の「フェリーきょうと」の就航により、所有船4隻のうち3隻が大型新造船となるため輸送力がさらに向上し、トラックドライバー不足や企業の環境意識の変化から、ニーズが高まっているフェリーへのモーダルシフトの受け皿として期待されています。

記

1 歓迎訪船

(1) 日時 令和3年12月14日(火) 11:45～12:00

(2) 場所 北九州市門司区新門司北一丁目6番
名門大洋フェリー新門司港ターミナル
「フェリーきょうと」6階エントランス
(船長:流 義幸(ながれ よしゆき)氏)

(3) 内容

①歓迎挨拶	北九州市港湾空港局長	辻 誠治
②記念盾贈呈	北九州市港湾空港局港営部長	小石 裕洋
③記念品贈呈	北九州港振興協会専務理事・事務局長	石井 宏治
④花束贈呈	北九州港振興協会	中津留 美奈子
⑤船社挨拶	(株)名門大洋フェリー代表取締役社長	野口 恭広

2 新造船の概要

(1) 就航日時 令和3年12月16日(木) 19:50大阪南港発(新門司行)

※新門司初寄港日 12月17日(金)

(2) 建造日(命名・進水式) 令和3年5月13日(木)三菱重工業(株)下関造船所

(3) 総トン数 15,025トン

(4) 全長 195m

(5) 全幅 27.8m

(6) 積載能力 トラック162台、乗用車140台、旅客675名

(7) 航海速力 23.2ノット

※ 航路・新造船の詳細等については、(株)名門大洋フェリーHPをご覧ください。<https://www.cityline.co.jp/newship/>

歓迎訪船の様子



歓迎挨拶

右：(株)名門大洋フェリー代表取締役会長 阿部 哲夫
左：港湾空港局長 辻 誠治



記念盾贈呈

右：フェリーきょうと船長 流 義幸
左：北九州市港湾空港局港営部長 小石 裕洋



記念品贈呈

右：フェリーきょうと機関長 高瀬 勝則
左：北九州港振興協会専務理事・事務局長 石井 宏治



花束贈呈

右：フェリーきょうと機関長 高瀬 勝則
左：北九州港振興協会 中津留 美奈子



船社側出席者

左から、阿部会長、野口社長、流船長
高瀬機関長、中野事務長



参列者記念撮影

(株)名門大洋フェリー「フェリーきょうと」

主要諸元

- | | | |
|---|-------------|--|
| 1 | 就航日時 | 令和3年12月16日(木) 19:50大阪南港発
※新門司初寄港日 12月17日(金) |
| 2 | 建造日(命名・進水式) | 令和3年5月13日(木) 三菱重工業(株) 下関造船所 |
| 3 | 総トン数 | 15,025トン |
| 4 | 全長 | 195m |
| 5 | 全幅 | 27.8m |
| 6 | 積載能力 | トラック162台、乗用車140台、旅客675名 |
| 7 | 航海速力 | 23.2ノット |
| 8 | その他 | <ul style="list-style-type: none">・公室の拡充、大部屋の廃止・二層同時荷役方式による車両搭載能力の強化・ハイブリッド型アジマス推進加勢方式推進プラント、ハイブリッド型スクラバー(排ガス処理装置)採用による環境性能の向上 |

